

### 人もまちも さらに子育て まちは子育て

地域の教育力の向上を  
目指して、家庭、学校、  
地域との連携を強化し、  
町全体で教育に関するこ  
とを考える「教育の日」  
の関連事業として、教育  
関係者が一堂に会し教育  
長表彰・教育講演会を今  
年も開催してまいります。  
幼稚園教育については、  
多様化する保護者の二  
ズや地域の現状などを踏  
まえ、専任園長、保育時  
間延長、給食提供を行い  
より一層の教育の充実を  
図ってまいります。

学校施設整備では、北  
丘小学校及び幼稚園の大  
規模改造事業、南風原小  
学校、翔南小学校の体育  
館防災機能強化事業に取  
り組みます。  
学校給食については、  
安全・安心な給食を提供  
し、健康づくりに努め、  
食育を推進してまいりま

す。  
文化センター・沖縄陸  
軍病院南風原塚群を、文  
化活動・平和学習・交流・  
観光の拠点として、充実  
強化を図り、観光関連事  
業と連携し  
事業を推進  
してまいり  
ます。  
「青少年の  
国際交流」  
と「青年海  
外研修派遣  
事業」は、  
それぞれ中  
学生と青年  
をハワイへ  
派遣し、海  
外移住者子  
弟との交流  
を図ります。  
また、一括  
交付金（沖  
縄振興特別  
推進交付金）  
を活用して、  
「学習支援  
員」、「特別  
支援教育支  
援員」の配

置事業、「子ども平和交流  
事業」、「伝統芸能保存継  
承事業」「県外等派遣助成  
事業」を引き続き実施し  
てまいります。



喜屋武の組踊「本部大主」

### ちむぐくるで こくる福祉と 健康のまちづくり

子育て家庭の生活実態  
や保育ニーズを把握し、保  
育所、幼稚園及び学童クラ  
ブ等の整備を充実する為  
に「南風原町子ども子育て  
支援事業計画」を策定しま  
す。

消費税率の引き上げに  
対して、所得の低い方々へ  
の負担を考え、暫定的・臨  
時的な措置として非課税  
などの要件を満たす方に一  
人あたり臨時福祉給付金  
1万円を支給し、高齢基礎  
年金等の受給者には5千  
円を加算します。

また、同様な措置とし  
て、子育て世帯への影響を  
緩和するため、要件を満た  
す方に児童一人につき子育  
て世帯臨時特例給付金1  
万円を支給します。  
保育園入所に係る待機  
児童対策については、入所  
定員を1,230名から



さんご保育園

1,270名へ40名増員す  
るとともに、定員の弾力化  
入所を行い待機児童解消  
に努めます。  
認可外保育園について  
は、県の新すこやか保育事  
業を継続するとともに、町  
独自の認可外保育園環境  
整備事業で認可外保育園  
の保育環境の向上を図っ  
てまいります。

児童クラブについては、  
県の放課後子どもプラン事  
業や一括交付金を活用し民  
間施設を借用し運営を行っ  
ている児童クラブに対して  
の家賃補助を継続し、放課  
後の居場所づくりの充実を  
図ってまいります。

健康づくりの拠点であ  
る「ちむぐくる館」の役割  
は大きく、健康増進の場と  
して多くの町民が利用で  
きるようにしてまいりま  
す。また、長寿県復活に向  
けた、生活習慣病予防も推  
進してまいります。

障がい者福祉について  
は、地域支援事業により障  
がい者本人や家族の不安・  
孤立感を解消できるよう、  
社会福祉士及び精神保健  
福祉士を配置し相談支援  
や就労支援を行ってまい  
ります。また、障がい者及  
び難病者の支援を行って  
まいります。

高齢者福祉については、介  
護予防・自立支援の推進と、  
権利擁護などのサービスを  
包括的・継続的に提供し、地  
域包括ケアシステムの構築  
に努めてまいります。

### 工夫と連携で 産業が躍動する まちについて

国民健康保険事業の運  
営については、特定健診の  
受診の勧奨を強化して受  
診率の向上と特定保健指  
導の実施率向上に努め、生  
活習慣病の予防や重症化  
を抑え、医療費削減を目的  
とする医療費適正化対策  
を推進してまいります。

次に産業の振興につい  
てであります。  
まず、農業振興について  
は、限られた農地の有効活  
用を推進し、農地の保全や  
安定した生産を図られる  
よう一括交付金を活用し生  
産施設の導入を促進して  
まいります。

また、継続して土壌改  
良・地力増強を促進するた  
めの土づくり奨励補助、拠  
点産地であるかぼちゃの  
増産支援のためのミツバ  
チ巣箱設置や花粉交配用  
品種の導入、ビニールハウ

す、井戸設置の補助、新た  
に病害虫や自然災害等の  
被害を未然に防止するた  
めの対策に必要な農業用  
資材購入への助成、さとう  
きび収穫機の使用に対す  
る助成制度の創設、町農産  
物の販売促進事業の強化  
等を実施することで生産  
農家を支援し農業経営基  
盤の強化に努めてまいり  
ます。

J Aおきなわが進めて  
いますファーマーズマー  
ケット南風原の開業に向  
け周辺道路等の整備を促  
進し、J Aと連携して町内  
農産物の販売促進に努め  
るとともに、生産、出荷体  
制の支援を強化し兼業農  
家や女性・高齢者の所得増  
と生き甲斐づくりを図っ  
てまいります。

南風原町地域耕作放棄地  
対策協議会、町農業委員会、  
J A等と連携し耕作放棄地  
や遊休農地の解消に努め、  
農地の確保、青年就農給付  
金の給付等による新規就農  
者等の農業の担い手育成を  
図ってまいります。

果樹振興については、一  
括交付金を活用した強化  
型パイプハウスの導入に  
よるスターフルーツの圃  
場拡大・増産を図り、拠点  
産地認定に向け取り組ん  
でまいります。

畜産振興については、家  
畜公害・環境保全対策事業  
と家畜伝染病予防事業の  
取り組みを推進してまいり  
ます。中小企業振興につい  
ては、町商工会と連携し地  
域を支える町内中小企業  
の経営基盤の強化、経営革  
新の促進、創業の促進が図  
られるよう支援すると  
もに、「南風原町中小企業  
振興基本条例」を制定し、  
本町の中小企業に対する  
振興策の充実、強化に努め  
てまいります。

また、町内の企業立地の  
積極的な促進や南風原町  
人材サポートセンターの  
取り組み強化による、町民  
の雇用の場の拡大を図っ  
てまいります。  
工芸産業振興について  
は、本町の重要な伝統工芸

品である琉球絃・南風原花  
織が持続的に発展できる  
よう、一括交付金を活用し  
た生産技術の向上、継承及  
び販路の拡大を琉球絃組  
合と連携し取り組んでま  
います。

観光振興については、沖  
縄県の重要産業であり、魅  
力ある観光で地域が潤う  
町を目指し、南風原町観光  
協会と連携して町内のレク  
リエーション・観光資源の  
整備活用を促進、産業界や  
文化団体及び沖縄コンベン



昨年4月に発足した南風原町観光協会